

土岐市新庁舎建設基本構想(案)

市では、昭和41年に建設された現在の市役所庁舎の建て替えについて、新庁舎建設プロジェクトチームを設置し検討を進めており、このたび土岐市新庁舎建設基本構想(案)をまとめました。

土岐市新庁舎建設基本構想(案)概要

■庁舎の現状・必要性

建設から48年が経過し、耐震性の問題、施設・設備の老朽化、施設の狭あい化、ユニバーサルデザインへの対応の限界などさまざまな課題を抱えています。特に耐震性については、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある」との耐震診断結果が出ています。庁舎内には市民生活に関わる多くの機能、大切な情報が集積されており、これらを守り、市役所としての機能を維持しつつ、防災拠点としての役割を果たすためにも早急に庁舎建設を行う必要があります。

■新庁舎建設の基本方針

現庁舎の抱える問題点などを踏まえて、新庁舎建設の基本方針を次のように設定します。

①安全・安心を支える庁舎

- ▷安心して利用できる安全性を備え、防災対応設備の整った庁舎
- ▷膨大な量の個人情報を守るため、十分なセキュリティ機能を装備した庁舎

②利用者にやさしい庁舎

- ▷高齢者や障がい者をはじめ、誰にでも利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れた庁舎
- ▷市民が気軽に訪れることのできる環境を整備した庁舎

③経済的・効率的で環境に配慮した庁舎

- ▷財政状況を考慮し、華美な要素を排除し、建設費用の抑制に努め長期的な経済性を考慮した庁舎
- ▷将来の行政需要のあらゆる変化に対応できる柔軟性を備え、効率よく質の高い行政サービスの提供ができる庁舎

■新庁舎の規模

新庁舎の規模は、国が示す基準や類似規模の他都市の事例を参考に約8,600~9,900㎡となりますが、隣接する文化プラザとの機能連携なども含め、検討しながら設定します。

■新庁舎の位置

平成26年度に土岐市新庁舎建設候補地検討委員会を設置し、3回にわたり建設候補地について検討協議しました。その委員会での結果を踏まえ新庁舎建設の基本方針や事業の実現性、経済性などを総合的に判断し、新庁舎の建設位置は「現庁舎地区」を選定しました。

■事業計画

建設費用

平成27年度以降に予定している基本・実施設計において事業費の積算を行いますが、近年の他都市の事例を参考にすると、1㎡当たり30万円から40万円を想定しています。

財源については、庁舎建設基金に加え、起債による借り入れなど財政負担のバランスを考慮しながら財源を確保します。

事業スケジュール

平成27年度より基本設計に着手し、社会情勢などを勘案しながら早期完成を目指します。

※今後の進捗状況しんちよくなどによりスケジュールは変更する可能性があります。

【パブリックコメント】

「土岐市新庁舎建設基本構想(案)」に関して、市民の皆さんからのご意見を伺います。

募集期間 5月15日(金)~6月12日(金)まで

閲覧場所 新庁舎建設準備室(市役所2階・総合政策課内)、各支所または市ホームページ

閲覧時間 平日の午前8時30分~午後5時15分

意見を提出できる方 市内在住・在勤・在学の方、市内に事業所を有する方および利害関係を有する方

意見の提出方法

新庁舎建設準備室に持参または郵送(当日消印有効)、ファックス、Eメールで提出してください。様式は自由ですが、題目を「土岐市新庁舎建設基本構想(案)についての意見」とし、住所、氏名、電話番号を明示してください。

その他 提出された意見などは類型化し、市の考え方を公表します。意見に対する個別の回答は行いません。

☎ 新庁舎建設準備室 (市役所2階・総合政策課内 内線215・FAX☎1127・✉sosei@city.toki.lg.jp)